

## 特集号の発刊にあたり（紀要特集のまえがき）

著者	田頭 孝介
雑誌名	室蘭工業大学紀要
巻	54
ページ	1-1
発行年	2004-11
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10258/58">http://hdl.handle.net/10258/58</a>

## 特集号の発刊にあたり ( 紀要特集まえがき )

附属図書館長 田頭 孝介

地方に位置する小規模の大学で大型の研究を行うとき、外部から知力・財力を導入しないと進展しないことが多々ある。実用的な研究であれば企業と共同で企画できる。ただ、大学が同じ地域の公的研究機関でもできる研究を志向してよいのか、という疑問は企業の優秀な研究者から投げかけられることがある。大学にこそ叡智を集結した独自の基礎的研究を期待してのことであろう。

ただ、現実問題として本学教員にとって、学内外の競争的資金の獲得はますます重要な課題の一つとなっている。法人化前の平成 15 年度、本学では学長裁量経費の一部を割いて「室蘭工業大学 21 世紀科学研究費」の募集を企画した。種目 A ( 地域との共同研究 ) と種目 B ( 若手教官 ) があり、両種目とも 5 件程度の採用予定に対し、前者には 12 件、後者には 17 件の応募があった。

この種目 A は地域社会との共生を今まで以上に強く意識した点に特徴があり、本学地域共同研究開発センターが募集している企業との共同研究とは趣旨を異にしている。すなわち、本学教員と学外研究者・技術者との協働を通して「起業」を含む地域社会への貢献を求めている。このように目的を明確にした上で外部パートナーと取り組むことは、地域社会から質の高い学術・技術情報の流入を期待でき、結果として本学の研究基盤のレベルアップにも繋がる。

結局、種目 A では 7 件に総額 1760 万円が配分された。配分経費の多寡はさておき、採択された研究テーマを改めて俯瞰すると、防災技術、環境保全技術、エネルギー変換技術など法人化後の重点研究領域の 1 つである「環境科学技術」に関連したテーマが半数を占めている。それらの成果もまとまったので、全 7 テーマの成果を広く社会に公表することとし、本特集を企画した。